

長崎 もり通信

— NAGASAKI FOREST NEWS —



写真:ながさき楽しみの森づくり会・シャクナゲの植樹式(長崎市民の森)

特集▼MHIパワーエンジニアリング(株)長崎事業部様より
森林ボランティア活動用資機材を贈呈いただきました

- 森林ボランティア団体 長崎竹活Labo 主催
「コンティの移動式あそび場 in 長崎れきぶん」
- NBCラジオ「あさकार」に出演させていただきました！
- 森のキセキ「トベラとシャリンバイ」

082号

R5.5月

MHIパワーエンジニアリング(株)長崎事業部様より 森林ボランティア活動用資機材を贈呈いただきました

令和5年3月29日、長崎県庁において、緑の募金及び森林ボランティア活動用資機材の贈呈式が執り行われました。

この贈呈式では、MHIパワーエンジニアリング(株)長崎事業部様より、長崎県緑化推進協会が取り組む緑の募金へのご寄付、そして長崎県森林ボランティア支援センターへ森林ボランティア団体等の活動へのご支援として、貸出しができる資機材を贈呈いただきました。

MHIパワーエンジニアリング(株)長崎事業部様は、日頃からCSR活動や、職員の皆さままでエコ活動に取り組んでおられ、その活動に対して付与されるエコポイントを活用し、「県内の緑化推進や森林ボランティア活動の推進に活用して頂きたい。」とのご意向からご寄付をいただきました。これまでも当センターへはチェーンソーやチルホール、ロープウインチやチャップス等様々な資機材を贈呈いただいております、森林ボランティア団体等に貸出しをしています。

今回は、森林ボランティア団体から、活動を行う中で出た材を活用したいとの声が多くあったため、「エンジン式薪割り機」を贈呈していただきました。今後、森林ボランティア団体の皆さまへ安全にご利用いただく為、現在安全確認と取扱いの注意点等を準備中です。準備が整い次第お知らせをさせていただきます。

MHIパワーエンジニアリング(株)長崎事業部の皆さま誠にありがとうございました。



エンジン式薪割り機



贈呈式の様子



(左) MHIパワーエンジニアリング(株)長崎事業部
事業部長 神垣 尚氏
(右) 長崎県農林部長 綾香 直芳氏

森林ボランティア団体 長崎竹活Labo 主催 「コンティの移動式あそび場 in 長崎れきぶん」

令和5年3月30日、森林ボランティア団体の長崎竹活Laboさんが、長崎歴史文化博物館と協力して、長崎歴史文化博物館のイベント広場で「移動式あそび場全国リレー コンティの移動式あそび場 in 長崎れきぶん」を開催しました。

春休み中に開催されたこのイベントは、どなたでも参加無料。10時から16時まで、設置された沢山のあそびの道具を自由に使って遊ぶことができます。遊具のほとんどは手作りのもので、森林ボランティア活動から出た材を活用しているものがありました。代表の近藤浩一（コンティ）さんは「設置している遊具の遊び方は一つではなく、子ども達が自分で考えて、自由な発想で遊び方を見つけ出してもらいたい。」とお話をされていました。参加していた子ども達は、様々な遊具に目移りしながら一つ一つ遊んでいました。長崎竹活Laboさんの今後の活動が楽しみです。



NBCラジオ「あさカラ」に出演させていただきました！

令和5年4月3日、毎週 月曜から金曜の 9時～12時50分まで放送しているNBCラジオ「あさカラ」の生中継に長崎県森林ボランティア支援センター長の佐藤が出演をさせていただきました！

中継の時間は5分程でしたが、県内での森林ボランティア活動の周知と、木育事業や企業の森づくり、森フェスタの開催等、様々な取組についてお話をさせていただきました。NBCラジオさんは、去年もセンター開催の

「ふるさとの森フェスタ」会場から約2時間半の生放送をしていただいたり、森林保全活動にご協力をいただいております。今回も、明るくて和やかなNBCラジオの後田さんと篠田さんのおかげで、森林ボランティアについてお話をすることができました。NBCラジオの皆さまありがとうございました！



(左) NBCラジオ 後田 仁さん
(中) センター長 佐藤 祐樹
(右) NBCラジオ 篠田 阿子さん

森のキセキ …トベラとシャリンバイ…

(トベラ科トベラ属/バラ科)

軌

跡

今回紹介する植物は、どちらも海岸に自生し、よく見かけます。両者は潮風に強いところが共通しています。

①トベラ

トベラは暖帯の海岸に自生しています。防風林を造成する場合、植栽するクロマツの間に集団的に植え込み、その防風効果でクロマツ苗木の生長を助けます。

この植物はトベラ科トベラ属の常緑低木で、高さは2～3m。雌雄異株で庭木としても利用されています。春先ごろ枝先に白い花を咲かせますが、果実は球形で熟すと三裂し赤い種子をつけます。

トベラの名前は、トビラノ木が転訛※したと言われています。トビラノ木は、地方によって、節分などに邪気を払うために魔除けとして扉に挟んだ習慣からついた名前だそうです。余談ですが下五島にはキュウシュウジカが生存しています。このシカはトベラが好物のようで食害された痕跡を見ることがあります。 ※転訛…ことばの本来の発音がなまってかわること。



トベラ

②シャリンバイ (車輪梅)

この植物は、東北地方南部の本州、四国、九州及び沖縄に自生しています。名前は、枝の分かれる様子が車輪のスポークのようで、花が梅に似ていることから命名されたと言われるバラ科の常緑低木です。

この植物は、大気汚染や暑さに強いのが特徴です。また剪定にも強いことから、公園や道路の緩衝地帯などで植栽されているのを見かけます。春先には枝先に多くの白い花をつけ、秋には果実が黒紫色に熟します。



シャリンバイ



センターからのお知らせ

センターのホームページはこちら→



今年度の森林ボランティア団体意見交換会は、7月8日(土)を予定しております。昨年度は安全対策について取り上げ、事故事例を皆さんで共有し、自分たちで取り組める安全対策について考えました。今年度も皆さまのご参加をお待ちしております。 森林ボランティア支援センター スタッフ一同



昨年度の様子

登録団体の皆様へ 5月分の活動報告は、6月10日までにご提出ください。